

## 編集局からお知らせ

通常、下旬号は2ページともスポーツ面となります。新型コロナウイルスの影響で5月から休刊となる状況を受け、本来5月上旬号（4ページ版）に掲載予定だった文化面が、今回2面に掲載となりました。

# 久喜太東中『ゲキを止めるな！』

コロナで上  
演中止でも

## 中学演劇の魅力伝えたい

脚本は当て書きで、全員

「ゲキを止めるな！」のラストを飾るダンス  
シーン（久喜太東中の斎藤俊雄教諭提供）

「ゲキを止めるな！」は私たちが現在活動の中心としている『SHO—GEKI』（ショウゲキ）を発展させた劇です。『ショウゲキ』とは、①小さな劇が集まり、全体的にも小さな劇の「小劇」、②コントの要素を取り入れた「笑劇」、③ダンスや歌・ハントマイムなどのパフォーミングアートが集まつた「Showの劇」、そして、④観終えた後に「衝撃がある劇」という四つの意味があり、小学校や人権集会、公民館でのお年寄りの集まりなどで上演しています。目指しているのは「たくさん的人に笑顔を届ける」ということ。その延長線上にある今作では、17人の部員全員がダンスを踊り、歌声を響かせることができました。全国大会は中止となり、出場の夢は実現できなくなりましたが、劇は止まらずに動き続けています。

### 演劇に込める想い

久喜太東中  
斎藤俊雄教諭の話



久喜太東中演劇部の部員たち。「ゲキを止めるな！」  
では普段の稽古場の出来事を盛り込んだ  
17人はもう、前を向いて歩き出している。

演劇  
「ゲキを止めるな！」  
心無い観客の振る舞いで止  
まってしまった劇を、再び  
上演しようと奮闘する演劇

部のドラマ。内藤璃子部長  
演じる古川里美が「無理無  
理言うたら何もでけへん。  
ゲキを止めたらあかん！  
ゲキを止めるな！」と仲間  
に訴えるシーンが印象的  
だ。「どんな状況でもあき

らめるな」という思いが込  
められ、大会中止という現  
状に打ち勝とうとする同校  
の姿に重なった。

ラストは部員17人全員で  
踊るダンスシーン。新体操  
やバレエの要素を取り入

れて、カラフルな華が舞う。

舞台に上げるのが同校の

モットー。ダンスや歌など

部員の特技を盛り込み、舞

台で披露させるスタイルを

貴く。歌もダンスも下手く

そな部員たちが仲間に助け

られ少しづつ成長していく

シーンは、内藤部長が構成

を考えた。音痴な人が努力

の末に美しい歌声を響か

せたときは部員全員が小さくガッツポーズ。

実際の稽古場での出来事を再現した

といい、「だれか一人がで

きるようになった時、全員

で喜び合えることが本当に

嬉しい」と語った。

## 魅力伝えたい 中学演劇

タイトルのベースにある

のは、低予算ながら徐々に  
上映館を増やした映画「カ  
メラを止めるな！」（上田  
慎一郎監督）。「廃部が増え  
る中学演劇の魅力を、低予

算で広げていきたい」とい  
う思いを重ねた斎藤教諭は  
各地でワークショップや講  
演会を開き、中学演劇を盛  
り上げる活動に奔走する。

参加校は部員数を3倍に増  
やしたり、関東大会連続出場  
を果たしたりするなど実績を



残している。関東中学校演劇発表会中止の発表の日、内藤部長は「残念だけど、この期間を個人のレベルアップに使おう」と仲間に呼びかけた。学校は休校中。個別に連絡を取り合い、ダンスの振りが未完成な部員にはゆっくりと踊った動画を送り、体が硬い部員にはストレッチの仕方を教え自主品牌練習をサポートし合う。17人はもう、前を向いて歩き出している。